

令和7年度 第4回都島区区政会議 グループでの意見交換

～グループでの意見交換について～

都島区区政会議では、委員の意見交換が活発となるよう、会議中にグループでの意見交換の時間を設けています。委員のみなさまには、将来ビジョン2030の4つの柱を2つに分けたグループ毎に、柱の視点からご議論いただきました。

(安全・安心のまち、明日に誇れるまち グループの意見発表)

- ・地域によって参加者が限られており参加してもらえないことが課題であり、区役所と連携しつつ、民生委員、学校のPTA、防災リーダー（ジュニア防災リーダーを含む）などいろいろな団体をも巻き込んで活動を広めていくことが大事である。
- ・なぜ、若い人がなかなか防災リーダーに入らないのかということについては、今、防災リーダーをやっている人と若い人との「思いのずれ」があるのではないかと。20代から40代の方がキーパーソンであるため、区からも推薦する仕組みをつくってほしい。
- ・町会加入をしていない人が多い地域、単身世帯が多い地域では、防災の案内や取組の共有ができていないところが多いのではないかと。
- ・区役所が昨年配布した防災ブックについて、令和8年度は配布予定がないと聞いている。地域のことをあまり知らない方にも防災についてしっかりとした視点をもらうため、毎年でなくてもコンスタントに配布してほしい。
- ・区政会議委員の地域での防災の取組例として、居住マンションで管理組合と連携し、防災イベントを実施したという紹介があった。
- ・地域の防災訓練や区での防災の取組は共助に向いたものが多いが、自助の面も大事である。共助に引き続き取り組む一方で、自助を高めていくことにも重点を置いたほうがよい。
- ・まちづくりビジョン2040「Meets NATURE」について、パンフレットの見た目が子ども向けの印象があるため、大人向けにも参加できるイベントであることを周知し、もっと広めてほしい。
- ・まちづくりビジョン2040に記載の「15分都市」について、よい視点である一方で地域差が出てくると思われる。特に北部・東部では区外で買物をする人が多いのではないかと。

(人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち グループの意見発表)

- ・令和8年度運営方針の評価指標について、定量性が主になっているため、定性性の両方を考慮した形での指標が必要ではないかと。
- ・令和8年度運営方針の評価指標としているアンケートでは、孤立感などが浮き彫りになっていないのではないかとという質問に対し、当該アンケートは地域の自立をめざしたアンケートであるため、その観点でのアンケートは今後考慮していきたいという区からの回答があった。
- ・予算について、資料がおおまか過ぎて分かりにくいいため、説明を充実してほしい。
- ・子どもの頃からまちづくりに参加できる、あるいは地域愛を育てるような取組がもっとあったほうがよい。
- ・開かれた学校、共に歩む学校として、学校協議会のさらなる充実を望む。